

弁形成術および弁置換術施行患者における抗菌薬 3 日以内中止率

測定対象

《分子》 分母のうち、手術当日から数えて 4 日目に、抗菌薬を処方していない患者数

《分母》 弁形成術および弁置換術を施行した退院患者数

結果

2019 年度 0.0 % 2018 年度 2.5 %

弁形成術および弁置換術施行患者における手術部位感染予防のための抗菌薬遷延率

測定対象

《分子》 分母のうち、予防的投与後（手術当日から数えて 4 日目以降）も抗菌薬を 7 日以上連続で処方した患者数

《分母》 弁形成術および弁置換術を施行した退院患者数

結果

2019 年度 0.0 % 2018 年度 5.0 %

抗菌薬分析

術後 3 日以内の中止率は低めであり、投与期間の短縮は課題と考えられます。しかし、遷延率をみると長期にわたる抗菌薬の使用はしていません。一般的に重度の感染症が生じる確率が 1 %と考えられている中、遷延率を低く抑えることができたのは周術期の感染症対策が十分なされている証拠と考えられます。現状を見れば抗菌薬三日以内中止率を改善することは十分可能と考えられます。